

令和5年第10回

教育委員会(臨時会)会議録

交野市教育委員会

1. 招 集 令和5年8月9日（水）午後1時00分
2. 開 会 令和5年8月9日（水）午後1時00分
3. 閉 会 令和5年8月9日（水）午後4時07分
4. 出席委員 北田 千秋教育長  
村橋 彰教育長職務代理者  
亥埜 誠治委員  
伊丹 香寿美委員  
長谷川 深雪委員  
中山 尚美委員  
般谷 恵秀委員
5. 事務局 大湾喜久男 教育次長兼教育総務室長・内山美智子 学校教育部長・大隅昌之 指導課長・堤下栄基 教育総務室長代理 金澤有真 指導課長代理・宮原光 指導課長代理
6. 議事日程
 

日程 1	会議録署名委員指名
日程 2	会議時間決定
日程 3	議案第20号 令和6年度使用交野市立小中学校教科用図書の採択について
7. 議事内容
 

北田教育長            皆さん、こんにちは。それでは、ただ今から令和5年第10回教育委員会 臨時会を開催したいと思います。

                         開催の前に、事務局から本日の出席状況を報告願います。

堤下室長代理        出席状況を報告いたします。本日の出席者は7名でございます。同時に、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第3項の規定により本会議が、成立いたしますことをご報告いた

します。

北田教育長 報告はお聞きのとおりです。

次に、本日のこの会議でございますが、地教行法第14条第7項の規定により公開にしたいと思いますが、ご異議ございませんでしょうか。

各委員 異議なし

北田教育長 ご異議がございませんので、公開したいと思います。

本日は、傍聴の希望がございますので、許可したいと思います。事務局、準備をお願いします。

堤下室長代理 傍聴のみなさまにお知らせいたします。携帯電話・スマートフォンは電源をお切りいただくか、マナーモードに設定いただきますよう、お願いいたします。また、そのほか、配付しておりますプリントの記載内容を遵守していただきますよう、お願いいたします。

北田教育長 それでは、ただ今から、令和5年第10回教育委員会臨時会を開催いたします。本日の議事日程は、お手元に配付しておりますとおりです。

まず、日程1「会議録署名委員指名」を議題といたします。

会議録署名委員の指名につきましては、交野市教育委員会会議規則第20条の規定に従い、教育長が指名することとしてよろしいでしょうか。

各委員 異議なし

北田教育長 ご異議がありませんので、伊丹委員を指名します。

次に、日程2「会議時間決定」を議題といたします。会議時間

決定につきましても、教育長一任とさせていただいてよろしいでしょうか。

各委員 異議なし。

北田教育長 ご異議がありませんので、ただ今から午後4時30分までといたします。

続いて、日程3 議案第20号「令和6年度使用交野市立 小中学校 教科用図書採択について」を議題といたします。

事務局説明願います。

金澤課長代理 提案理由の説明に先立ちまして、配付資料の確認をさせていただきます。資料 1-1 義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律施行令、資料 1-2 令和 6 年度使用教科書の採択事務処理について（通知）、資料 2-1 義務教育諸学校における令和 6 年度使用教科用図書の採択について（通知）、資料 2-2 令和 6 年度使用義務教育諸学校教科用図書採択の基本事項、資料 3 令和 5 年度使用小学校教科用図書一覧、資料 4 令和 5 年度使用中学校教科用図書一覧、資料 5-1 交野市立義務教育諸学校教科用図書選定委員会条例、資料 5-2 教科書採択方式について、資料 6-1 令和 6 年度使用小学校教科用図書について【答申鑑文】、資料 6-2 令和 6 年度使用小学校教科用図書について【総合所見】、資料 6-3 令和 6 年度使用小学校教科用図書について【一覧】、資料 7 令和 6 年度使用教科用図書（小学校）調査報告書、資料 8 令和 6 年度使用小学校教科書について【学校所見】、資料 9 令和 6 年度小学校教科書見本本の発行者別一覧、資料 10 令和 6 年度使用小・中学校教科書展示会でのご意見、資料 11 令和 5 年度教科書採択（小学校・英語）における学習者用デジタル教科書の見本版の閲覧について、以上でございます。

なお個人情報等が含まれる一部資料については傍聴者には配付しておりません。

それでは、提案理由について説明させていただきます。

まず、令和6年度使用小・中学校教科用図書採択について、説明いたします。

資料1-1をご覧ください。本法律施行令第15条により、同一の教科用図書を採択する期間は原則として4年となっておりますことをご確認ください。

資料1-2をご覧ください。1(1)には「小学校用教科書の採択について、令和4年度に採択したものと異なる教科書を採択することができること。」とあります。

1(2)には「中学校用教科書の採択について、令和5年度においては、令和4年度と同一の教科書を採択しなければならないこと」とあります。

資料2-2をご覧ください。本市は、1(1)エの1市1採択地区の教育委員会となります。次ページの2(2)をご覧ください。1市1採択地区の教育委員会は、教科用図書選定委員会を設置し、教育委員会の諮問により、教科用図書の調査及び研究を行い、その選定に関しては教育委員会に意見を答申することとなっております。

続いて資料5-1をご覧ください。第3条第2号にありますように、選定委員会の委員は、教育委員会の事務局職員、交野市立学校の校長、そして交野市立学校に在籍する児童又は生徒の保護者となっており、幅広く意見を頂くこととなっております。

第8条では教科用図書の調査研究を行う際、専門的な調査研究を行うため、調査員を置くことができるとなっております。

調査員は、採択が適正に行われるために必要な調査検討を行い、報告することとなっております。

地域の児童にとって最も適した教科用図書を採択するために、選定委員会として意見をとりまとめ、教育委員会へ答申を行い、教育委員会にて採択することとなっております。

以上、提案説明とさせていただきます。

北田教育長           提案の説明が終わりました。質疑を受けたいと思います。質疑はありませんか。

各委員               質疑なし。

北田教育長           ないようでしたら、説明にもありましたように中学校の教科用図書採択につきましては、令和5年度においては令和4年度と同一の教科書を採択しなければならないということですので、本日ににつきましてはまず小学校の教科書の採択、これにつきましては令和4年度に採択したものと異なる教科書を採択することが出来るとなっておりますので、まず小学校の教科用図書から採択を進めさせていただきます。

                          交野市立義務教育諸学校教科用図書選定委員会からの答申について、選定委員長より報告を受けたいと思います。

内山部長             それでは、「交野市立義務教育諸学校教科用図書選定委員会」の調査研究結果について報告させていただきます。

                          資料6-1をご覧ください。令和6年度使用小学校教科用図書について（答申）について報告させていただきます。

                          交野市立義務教育諸学校教科用図書選定委員会条例第2条に基づき、令和5年5月15日(月)、交野市立青年の家会議室において第1回交野市立義務教育諸学校教科用図書選定委員会を開催し、①公正確保の観点から当会を秘密会にすること、②調査員において専門的な調査・研究を行うこと、③参考資料として、学校からの所見を求めること等を決定いたしました。

                          選定を進めるにあたり、各種目3名の調査員により専門的に教科用図書について調査・研究が行われ、7月4日(火)の第2回選定委員会、7月14日(金)の第3回選定委員会にて、調査員からの調査報告書に基づく口頭報告を受けました。各種目の調査報告書等を基に適正かつ公正に審議を行いました。

                          7月24日(月)に開催した第4回選定委員会にて最終審議し、

別紙のとおりに取りまとめましたので答申いたします。

続きまして、資料 6-3 の一覧につきましては、調査検討に基づき、発行者別に教科用図書の所見をまとめたものでございます。

資料 6-2 総合所見をご覧ください。種目ごとに報告いたします。全部で 13 書目ございます。国語、各発行者とも学習指導要領の国語科の目標達成に必要な内容が取り扱われている。

その中でも光村図書は、「国語の学びを見わたそう」において、教材と領域、身に付けたい言葉の力や学習のポイントが示されており、学習内容を深めたり、社会生活に生かしたりするよう配慮されている。また、「問いをもとう」では、児童に問いを持たせる視点を与えるとともに、「どんな」という表現があらゆる箇所で使われており、児童が自らの思考を深められるよう工夫されている。

手紙を書く単位では、書く相手を「見に来てほしい人」と表現しており、人権的な配慮が見られ、児童が安心して学習に取り組めるよう工夫されている。

東京書籍では、1年生「たのしくかこう」では、左手の鉛筆の持ち方の写真が掲載され、すべての児童にとって扱いやすいよう配慮されている。また、5・6年生で扱われている「デジタルノートの作り方」では、一人一台端末を活用して思考を整理したり深めたりする方法が示されており、児童の思考を促す工夫がされている。

書写、各発行者とも学習指導要領の国語科の目標達成に必要な内容が取り扱われている。その中でも光村図書は、学んだことが日常生活に生かせるよう、6年生に「書写ブック」があり、書写で習得した知識・技能を他の場面で役立てる方法をイメージし、文字を書く意欲が喚起されるよう工夫されている。また、1年生では「しょしゃすたーとぶっく」、3年生では「毛筆スタートブック」が掲載され、児童の発達段階に応じて、円滑に学習が進められるよう工夫されている。

教科書紙面の二次元コードから、「左手で書く人」用の鉛筆の持ち方動画が掲載されており、すべての児童にとって扱いやすいよう配慮されている。

東京書籍は、児童が親しみを持つことができるよう、イラストと擬音を掲載することによって、書く動きが視覚的にわかりやすく示されている。また、リンクマークがあり、他教科との学習のつながりが意識されるよう工夫されている。

社会、各発行者とも学習指導要領の社会科の目標達成に必要な内容が取り扱われている。その中でも教育出版は、6年生「憲法とわたしたちの暮らし」の学習において、ハンセン病、先住民族、障害者差別解消法を取り上げており、様々な側面から基本的人権の尊重について理解が深まるよう工夫されている。また、各学年に「SDGsとつなげて考えよう」の特設ページがあり、学んだことをSDGsの視点から振り返り、これからの地域や社会、暮らしの在り方とつなげて考える工夫がされている。

掲載されている資料については、白黒写真がカラー化されているものが多く、児童の興味・関心を高める工夫がされている。

東京書籍は、「この教科書のつくりをみてみよう」において、学び方の記載や登場するキャラクターの活用など、興味をもちながら学習できるよう工夫されている。また、多くのページに二次元コードが記載されており、学習に役立つデジタルコンテンツを見ることができ、知識・理解が深まるよう工夫されている。

地図、各発行者とも学習指導要領の社会科の目標達成に必要な内容が取り扱われている。その中でも帝国書院は、山間部と都市部の色合い、土地の高さによる色分けがはっきりしており、地形の特徴や人々の暮らしが読み取りやすくなっている。また、各地方の地図が大きく取り扱われており、「きさいち」の記載があることから、交野市の子どもたちには親しみやすい。

「地図マスターへの道」では、他教科と関連付けて考えられる問題がクイズ形式で設定されており、児童の興味・関心が高まり、主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。



東京書籍は、3年からの活用に配慮し、地図の仕組みや約束ごとなど地図学習の基本を学ぶページが巻頭に設けられている。また、文字が大きく読みやすい工夫がされている。地図に関連して記述される情報量が多い。

算数、各発行者とも学習指導要領の算数科の目標達成に必要な内容が取り扱われており、課題の設定について工夫されている。その中でも東京書籍は、1年①がA4版中綴じ分冊でノートの機能を併せ持った仕様となっており、幼・保・小への円滑な接続が意識された、児童にとってわかりやすく、使いやすいページ構成となっている。また、単元冒頭では、学校や日常生活との関連を重視した、学校や児童が解決の必然性を感じられる場面となっており、意欲を高め主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。「マイノートをつくろう」でノートづくりを例示するだけでなく、「マイノートを学習に生かそう」で数学的な見方・考え方を軸にした振り返りに活用できるよう工夫されている。

啓林館は、学年初めの「算数の学習の進め方」や、単元導入時に「これから学習することのめあて」があることにより、児童が見通しをもって学習に取り組めるよう工夫されている。6年生の巻末には、数学を仕事で活用している人へのインタビューが掲載されており、中学校への接続を意識した構成となっている。

理科、各発行者とも学習指導要領の理科の目標達成に必要な内容が取り扱われている。その中でも東京書籍は、夏の星の学習において、おりひめ星、ひこ星の記載があり、交野市の子どもたちには親しみやすい。単元導入では、身近な体験や写真資料が取り扱われており、児童の興味・関心を高め疑問や気づいたことなどを引き出し、問題解決学習が行えるよう工夫されている。また、単元末の「ふりかえろう」「たしかめよう」「デジ問」「つなげる学び」「理科のひろば」などで、学習した内容を振り返ることができるよう構成されている。

啓林館は、「理科の広場」や「くらしとリンク」等の問題解決学習を通して学んだことを、日常生活や社会につなぎ、理科の有

用性を実感することができるよう工夫されている。また、「活用しよう」では、学んだことと身近な生活との関わりについて発展的に考えることができるよう工夫されている。取り扱われている写真は、交野市の近隣地域が多く親しみやすい。

生活、各発行者とも学習指導要領の生活科の目標達成に必要な内容が取り扱われている。その中でも啓林館は、「わくわく」「いきいき」「ぐんぐん」という3段階で単元が構成されており、効果的な指導が行われるよう工夫されている。また、スタートカリキュラムである「すたあとぶっく『がっこうだいすきいちねんせい』」に、安全に関する記載があり、児童自身が安全を守れるよう工夫されている。学習や生活を振り返り、生活上必要な習慣や技能の習得を確かなものにするため「こんなときどうしよう」が設けられている。また、二次元コードから学習に役立つ情報を見ることができるよう工夫されている。

東京書籍は、各単元で課題を設定し、活動を行い、振り返るという流れになっている。また、大きな写真やイラスト、子どもたちの活動のヒントになる吹き出しなど、活動がイメージしやすくなるように構成されている。

音楽、各発行者とも学習指導要領の音楽科の目標達成に必要な内容が取り扱われている。その中でも教育芸術社は、学習した内容を確実に習得できるよう、学習の内容や過程などを振り返ったり、学んだことを生活に生かしたりすることができるよう配慮されている。また、二次元コードが多く掲載され、動画を通してそれぞれの楽器の音色を味わったり、曲の特徴的な旋律について確認したりできるようになっている。各活動において必要な技能を「歌う」「きく」「つくる」「演奏する」として明示し、見通しをもって学習に取り組めるような内容になっている。

教育出版は、歌唱教材、器楽教材、音楽づくりとともに段階を追って学習を進められるよう考慮されており、特に低学年では身体表現を取り入れながら音楽に親しめるような内容になっている。

また、学習のポイントが意識できる記述があるなど考慮されて

いる。

図画工作、各発行者とも学習指導要領の図画工作科の目標達成に必要な内容が取り扱われている。その中でも日本文教出版は、活動の流れが順序立てて配列され、見開きで作品や児童の活動の様子が示されている。他教科等と関わりのある題材について、「つながる学び」マークが示されている。また、各題材で二次元コードが掲載されている。児童の安全や事故防止について適切に取りあげられていることに加え、各巻末の「材料と用具のひきだし」では、用具や材料の基本的な扱い方を示し、安全な使い方ができるように配慮されている。

開隆堂は、児童の発達段階に応じて、表現活動の内容と育てたい力（資質・能力）がバランスよく構成されている。また、児童の安全や事故防止について適切に取り上げられている。

家庭、各発行者ともに学習指導要領の家庭科の目標達成に必要な内容が取り扱われている。その中でも開隆堂は、表紙をはじめとして料理をする男性や肌の色の違う人物のイラストが多く扱われており、ジェンダー平等や多文化共生に配慮されている。また、調理実習の手順を横一列に配置していることで見やすい構成となっていることに加え、同じ見開きに「包丁等の使い方」が記載され、安全への配慮がなされている。「エシカル（倫理的な）消費」についても触れられており、人・地域・社会・環境等に配慮した消費について学べるよう工夫されている。

東京書籍は、調理や食事に関する記載において、左利きの包丁の扱い方や箸の使い方が掲載されており、配慮されている。また、家族や家庭生活に関する内容項目の取り扱いが多い。

保健、各発行者とも学習指導要領の体育科保健領域の目標達成に必要な内容が取り扱われている。その中でも学研は、どの単元においても「ふりかえる」「話し合う」「学びを生かす」という3つの活動で効率よく学習できるよう工夫されている。体の成長を扱う単元においては、登場キャラクターの「身長のものび」から学ぶ構成となっており、児童自身の身長を記載する必要がなく、

身長にコンプレックスを感じる児童へ配慮されている。また、「思春期の心」「心と体のSOS」について特設ページがあり、思春期を迎える児童への配慮が見られる。教科書に直接書き込めるようになっている箇所が多く、限られた授業時数を有効に活用できるよう工夫されている。

光文書院は、思春期の不安に対する対処法として、腹式呼吸等を具体的に説明しており、児童が取り組みやすいよう工夫されている。また、5・6年生ではインターネット依存に関する記載があり、児童が日常生活の中で意識して取り組めるよう配慮されている。

外国語（英語）、各発行者とも学習指導要領の外国語科（英語）の目標達成に必要な内容が取り扱われている。その中でも東京書籍は、児童が書き込んで使用できる別冊が5・6年生共通で1冊用意されており、児童がノートのように使用したり、復習する時に既習事項を遡りやすい等、工夫されている。また、各学年の巻末に切り取って使える「コミュニケーションカード」が複数用意され、授業で様々な言語活動に取り組みやすいよう工夫されている。デジタルコンテンツで英会話の様子を実写で視聴でき、学習後のめざす姿をイメージしやすい。

光村図書は、5年生で「災害と英語」の掲載があり、災害時に必要な英単語を紹介している。また、二次元コードを活用したデジタルコンテンツでは、イラストが多数使用されており、工夫されている。

道徳、各発行者とも学習指導要領の道徳科の目標達成に必要な内容が取り扱われている。その中でも光文書院は、「いじめ」について、特に重点的に取り上げ、「いじめ」を生起させない視点で教科書が構成されている。また、全学年で「情報モラル」や「へこんでも立ち直る」（レジリエンスカ）を取り扱う教材が系統的に配置されている。

教材冒頭では、児童に考えさせる投げかけの言葉が記載されており、「考え、議論する道徳」が実践しやすいよう工夫されている。

る。全ての学年で年間授業時数より多い教材が設定されており、児童の実態に合わせて指導者が選択しやすいよう配慮されている。

光村図書は、教材や発達段階に応じて、さまざまな思考ツールが提示され、児童の考えが視覚的に整理しやすいよう工夫されている。また、シールを貼って学びの記録を確かめたり、児童に親しみのあるイラストを用いたりするなど、児童が興味・関心を持ちやすい工夫がされている。

以上、報告させていただきます。

北田教育長

選定委員会からの報告がありました。今の報告につきましてなにかご質問などがあればお願いします。

この春にすくすくウォッチや学力・学習状況調査がありました。あのような問題を見ていると生活に密着しているというか生活体験がないとなかなかぴんと来ないだろうという問題が多いです。ウスターソース、中濃ソースに関する問題もそういうものがパッと思い浮かぶかということもあります。毎年のようにポスターの問題が出ますが、じゃあそのポスターを誰に何をどういう目的でという、そういうところについてちゃんと考えないとポスターも作れませんし、そういう意味では昔みたいに、ただ教えてもらったことを覚えてそれをテストで書けばいいというそういう時代ではないんだと思います。

前回、令和元年度に小学校の教科書採択替えをしましたが、その時から学習指導要領は変わっていません。ただ社会の在り方としてコロナもありましたし、子どもたちは一人一台タブレットを持っています。あるいはデジタル教科書も広がっています。あと世の中にそれまでもありましたがSDGsの考えですとか、人権的な考えとか、こういうものもこの4年間の間に子どもたちの間に浸透してきていると思います。先日のプログラミング大会でもプログラミングというのは新しいですが、その中で終わった後SDGsのことを発表している子どもたちの姿もありましたし、そ

ういう大きく変わった教育環境も踏まえて、今の選定委員会の答申も踏まえてご議論をお願いしたいと思います。

では、選定委員会の説明に対するご質問がないようでしたら、総合所見にあった順番で、小学校の13種目の採択を進めます。

途中、7種目目の生活が終わったら10分程度の休憩を取ります。

お手元に見本本があります。すでに何度か見ていただきましたが、先ほどの総合所見等がお手元にありますので、事務局からの先ほどの総合所見を聞いていただき、再度確認したい点もあるかと思ひます。

お手元にタブレットがあると思ひます。この間二次元コードを讀んでいただきましたが、もう一度確認とかで見るといふのであれば見ていただければと思ひますので、今から5分お時間を取りますので、国語から生活までの7種目についてもう一度教科書なりで確認をお願いします。5分経ったら採択を始めます。

北田教育長

では国語から採択を進めたいと思ひます。前回、令和元年度のこの場では、採択時のポイントとして、「複数の情報から自分なりの答えを導き出すプロセス」「論理的に話す力」「図書館の活用」などが上がっていました。

前回は採択に参加していただきました伊丹委員、委員としてあるいは保護者としての視点でいかがでしょう。

伊丹委員

国語は核となる。文字が読めないと、文書が読めないと学習ができないということで「核となる教科」ですし、幼稚園保育園から小学校に上がって初めて見る教科としてのものですので、なるべく導入のしやすいようなものがあればいいなと思ひています。

光村図書を見ると、もちろん文章は書いているんですが学習の目的であつたり単元の後に吹き出しがあつて二人で会話しているようなかたちがあつて、質問と答えのセリフみたいなかたちになっていて、この単元を讀んでどういった学習ができるのかとか

こういった会話が出来るのかなというイメージが付きやすい点で導入としてはいいのかなと思いました。

あと絵本ですが、絵本として結構たくさん紹介されているので、本に親しみのないお子さんも読みやすいというか勉強ではなくて自分の趣味としてもいいかなと思いました。

北田教育長 村橋教育長職務代理者、今の子どもたちの必要な力も含めていかがでしょう。

村橋教育長職務代理者 国語力が大きな課題だと思います。各発行者の特徴を見せていただきました。特に光村図書ですが学年の一番最初ですが、国語の学びを促そうということでスタートします。それで今から何を目当てに勉強するのかということ、それとどうやって学んでいくのかという学びのスタートを分かりやすく示していました。そして1番は1年間の目標をかけて、他教科とのつながりもあるんですが、それを意欲関心を掲げて学んでいくという事で、楽しみながら学習していこう、例えば3年生を例にとりましたら、3年の上の国語の学習で、日々やることや楽しんだ学習を書いておこう、まずここでいろんな自分の思いを書くんです。そして今度は3年生の下ですが3年生を振り返って書いていることで1年間のたくさんのことがありましたねということで、今度はこんな力が付いたよということを書きます。

振り返ってそして自分で書き込んでいるわけですから、この3年生ではこういうことを勉強してたんだということが一目瞭然で、分かりやすく構成されていると思いました。

北田教育長 今伊丹委員から1年生は導入のイメージがしやすい、それから3年生の教科書は自分の力がどのくらい付いたか分かりやすいということで光村図書が上がってきましたが、般谷委員、別に大人目線ではなくて子ども目線でもいいですし何かご意見があったらお願いします。

般谷委員

今伊丹委員がおっしゃったように、国語力というか言葉が大事かと思います。いろいろと拝見して比べるという意味ではないですが、デザイン性であったり背景とかその中にある絵が出てきたらその絵に対して感情を表に出しているものとかを見てしまうと、何かどこか怒っているのか笑っているのか悲しんでいるのかというところを見ていくと、いろんな教科書の中に表現があいまいなところの部分が見えているような気がするので、そのへんも注意して見ていました。

見えてきたと思ったら、教科書の中にある何を伝えたいのかという部分の中で、表題がきちりとこの絵やすべてのことに繋がっているのかどうかということを考えていくと、国語は東京書籍が分かりやすいと思いました。光村図書も今、村橋教育長職務代理者が言われたように、分かりやすく 3 年生なら 2 年生を振り返るとかいろんな部分の中で、自分が学校生活のいろんなことを振り返りながら前へ進んでいけるというのは、とてもいいのではないかと思います。

あとこの中で国語力もそうですが、生活とか道徳というのも非常に必要なものであってよくよく目を通していったんですが、この表現することの大事さを気づかせてもらったので、後で道徳や生活で話をさせてもらいたいと思います。

今は国語ですので、私なりに分かりやすいと思ったのはこの 2 者です。

北田教育長

表現で言うと東京書籍の方が何を伝えたいのか分かりやすい、光村図書は振り返りがいいということです。

中山委員は小学校の支援員として経験もありますがいかがでしょう。

中山委員

令和 5 年の 4 月から教育委員になりまして、いきなりの教科書選定が待ってるよということで大変な事だなと感じました。



たくさんの教科書と膨大な量を隅から隅まで見るということは時間的にいろんなことを考えて一人ではとても難しく、その中で、学校図書選定委員会の方で先ほど所見をいただいたように、それを参考にさせていただきました。この教科書も優劣で決めるわけではなく選定委員会の所見を参考に、じゃあより交野市の子どもたちにはこちらの教科書がいいんじゃないかということで決めさせていただくことになるかと思います。

まず1年生にとっては初めての手に取る教科書ということで、光村図書なら最初のページにあえて文字がたくさんないことで、いろんな言葉を教師の方が予測しないような言葉も発することが出来るのではないかなという点でいいのではないかと思います。後はそれぞれの巻頭の国語の学びを見渡そうということで、具体的にイメージして一つ一つの単元に取り組むところが光村図書のいいところだと思いました。

北田教育長

中山委員からも光村図書が、とくに新1年生が初めて手に取る教科書として非常に文字がないことで、かえってイメージが湧くのではないかということでした。

亥埜委員は、普段から社会的な問題を質問されていますがいかがでしょう。

亥埜委員

私は教科書選定は2回目ですが、教科書の移り変わりというか先ほど教育長もおっしゃいましたがSDGsであるとか身の回りとの関わりであるとか、後は二次元コードを取り入れたりとか、そのあたりが前とは変わっていているという内容が全体的に見られました。みなさんどの出版社も工夫されていてそのへんは前と違うと思いました。国語で言えば光村図書と教育出版の2者を選定委員会が考えてきたので見比べてみたんですが、光村図書の国語104ページでインターネットでニュースを読もうというのと同じような内容が、東京書籍でインターネットは冒険だということで46ページにあります。見比べてみると光村図書はパソ

コン画面で一緒にズームをしたりして、どちらかというとも勉強するのに見やすい。東京書籍は文字で説明していたりで、ちょっとの差というところで私は光村図書の方がいいかなという感想を受けました。

北田教育長 長谷川委員、子どもたちの心情や人権的なことを委員会でも常に気にしていただいています、いかがでしょう。

長谷川委員 私は今回、国語だけに関わらずですが、家庭の在り方も様々になってきたりですとか、いろいろなルーツを持つお子さんが交野にも増えてきた点から人権的な視野で拝見させていただきました。

資料6-3にもありましたように、光村図書で「手紙を書こう」の単元で相手が家族でない人を設定し配慮されている。これ私はすぐに気づきまして、3年生の上の本ですが、家族に手紙をではなくて、例えば、見に来てほしい人、という表現がなされています。ここは着目すべき点だったかなという視点で見えていました。

また同じ光村図書の5年生ですが256ページ、257ページ。ここで点字と手話が取り入れられています。他の本も拝見させていただいたつもりなんです、このように厚紙で点字標記がなされたページがあったのは光村図書だけだったのではないかと、間違っていたらすみません。ただそういった意味でも、性的マイノリティだけではなく、やはり人権という意味では障がいのある人たちへの理解というのにも必要な知識ではないかなと思ひまして、ここで基本的な展示と手話で指文字がここには書かれていて、しかも厚紙になっていて、例えばこれだけをこの教科書も終わった後も使えたりするような配慮がなされているというように取れました。交野市でも令和2年に手話言語条例が施行されていて、手話でいうところであれば手話も一つの言語であり国語と同じ扱いであるというふうな視点が盛り込まれていますのでここは注目した点です。

推薦図書が下の方や巻末に書かれていたりするんですけど

も、教育出版の推薦図書は、その本の中身がジャンル別で細かく提示されていて見やすいな、と思いました。教育出版は各学年上下に分かれていて、保管する量が多いかもしれませんが、子どもが持って行くという視点で見れば、その都度は重量が抑えられるのかな、という点に気づきました。

特に人権という点では、光村図書にそういった点が多いのかな、という印象です。

北田教育長

それぞれ意見が出たように、各出版社に特徴があるかと思えます。例えば、4年生の下を見てもらいますと、東京書籍と光村図書と教育出版、他もあるかもしれませんが、「ごんぎつね」が入っています。32 ページから、学習というところで、感想、気持ちの変化をとらえながら、最後には感想を書いて、それをグループで伝えましょう、ということです。東京書籍が56 ページに同じように、読んだ後、気持ちの変化を伝え合おう、ということです。光村図書はまず感想を書いて、それを伝え合おうということです。東京書籍はストレートに伝え合おう、ということです。

教育出版は、26 ページで登場人物の気持ちの変化を考えて日記を書こう、というものです。もしごんが日記を書いていたらどんなふうになるか、それを伝え合ってから感想を伝え合おう、という。

同じ題材を扱っていても、教科書会社によって特徴があるように感じます。ストレートに伝え合う、ということ、あるいはまず日記を書いて日記を伝え合ひましょう、という。ごんはどんな気持ちだったか日記を書いてみましょう、書いた日記をみんなに伝え合ひましょう、という。

先日、京都大学の石井先生の講演がありましたが、教育出版なんかは、教材に子どもを食いつかせて、授業の展開を考えていくというようなことになります。それぞれご発言ありましたが、どの教科書もよく作られていますけれども、みなさま方の意見、小学校低学年の子どもたち、あるいは中学年、人権的な視点、いろ

いろいろ考えてまとめとすると、国語については光村図書の国語がふさわしいとまとめてよろしいでしょうか。

各委員 意義なし

北田教育長 東京書籍や教育出版のご意見もありましたが、全体の流れとしましては、光村図書だったかと思います。

それでは、お諮りいたします。令和6年度使用小学校教科用図書「国語」につきましては、光村図書出版の「国語」を採択することにご異議ございませんでしょうか。

各委員 異議なし

北田教育長 異議なしと認めます。

次に、書写の採択に移ります。前回、令和元年度の採択時のポイントとして、「書写を通じて、子どもたちが何を学ぶのかが大切」「日常生活で書くときに、目的や場面を考えて、どの筆記用具を使うのかを学ぶ」「伝統文化を学ぶ」「スモールステップを設定し学ぶことが望ましい」などのご意見が上がっていました。

では、書写の見本本を見られて、委員の皆さんのご意見を願います。

長谷川委員 例えばですが、光村図書の6年生、ほぼ真ん中でしょうか、小さくなった書写ブックというものがあるんです。この部分だけで、1年生から6年生まで学習したことを日常的に広げていこうということ具体的に提示されていて、とても見やすいな、と思いました。2年生では原稿用紙の書き方がありますが、今は本当に機会が少なくなりましたが、はがきの書き方が4年生に、これも日常に直結している部分とも言えるのかな、と思うんですけども、そういうのが特別な綴じ方によってすごくわかりやすくなっているな、というのが印象です。

北田教育長 他にいかがでしょうか。

伊丹委員 先ほどと同じように、1年生が学校に入って初めて見るもので、国語でもそうですし、書写でも字の書き方からスタートする、というところで、書くことに慣れていないお子さんにとったら、鉛筆を持って書くこと自体が大変なところがあって、字に対する親和性というところで、1年生の書写の最初のところにスタートブックというのがついていて、いきなり書きましょう、というものではなく、教室で字を探してみましよう、とか、この体操を試してみましよう、とか、スモールステップの説明があるので、非常にわかりやすいというか、親しみやすいかな、とは思いました。

北田教育長 今、光村図書について、長谷川委員からは6年生の書写ブックについて、伊丹委員からは1年生のスタートブックについて、それぞれ各学年においてスモールステップが用意されていると、出版社名があがってききましたが、他にいかがでしょうか。

亥埜委員 光村図書は、先ほども言ったように、3年生からページの裏にSDGs×書写というふうに書いていて、書写の時間でもSDGsに関わっているんだということがわかっていいかな、と思います。  
びっくりしたのは、左手での持ち方です。今はだいたい右手用にできているところが、そういうふうに教えているんだな、と。

北田教育長 今、1年・3年・6年の書写の光村図書の教科書のご意見をいただきました。他にいかがでしょうか。

村橋教育長職務代理者 1年生で書写学習がスタートしますが、3年生で毛筆学習がスタートするという流れがあって、学年進行、発達段階における学習が進められていくという教科書がわかりやすいのかな、という視点で見てみたんです。特に、光村図書の6年生の書写ブックで

あたり、1年生から6年生までの学習の内容がまとめられています。それが何かというと、中学校につなげられるということなんです。それぞれがその学年に応じた内容でいくんですけども、非常に見やすいな、という工夫がされていると思います。

今、教育長からもありましたが、左手、右手関係なく写真で示されていて、東京書籍の内容も特徴があるな、と思っていました。

あくまで、学年進行という点で見た時には、光村図書が工夫されているな、というふうに思います。

北田教育長 東京書籍の左利きの写真などもありますが、学年進行や中学校とのつながりを考えると、光村図書がいいのでは、というご意見でした。

今、委員からは光村図書のご意見が出ていますが、みなさんよろしいでしょうか。

それではお諮りいたします。令和6年度使用小学校教科用図書「書写」については、光村図書出版の「書写」を採択することに異議はありませんか。

各委員 異議なし

北田教育長 異議なしと認めます。次に社会の採択を行います。令和元年度の採択時のポイントとして、「社会との関わりを意識」であったり、「主体的に学べるように工夫されているか」「2年生までの生活科との関連」「6年生では中学校へのつながりを意識した編成」「それらが子どもたちが身近なこととして学んでいく工夫がされている」などが上がっていました。

では、委員の皆さんのご意見をお願いします。

村橋教育長職務代理者 2年生までは生活科で、3年生から社会科になるわけですが、1・2年生の生活科があって、次のステップで社会科につながる、そのつながりが大事になってくると思うんです。教育出版なんて

すけれども、3年生の最初の学習のところで、学習の進め方、というのが丁寧に説明されているんです。他の教科との関わりの説明もされているんです。これまでの流れ、この後の流れ、他教科とのつながりを考えて学習する工夫がされている印象です。

北田教育長           3年生の最初のところですね。生活科をふりかえろう、という。中山委員、いかがですか。なかなか小学校の教科書を見る機会もあまり今までなかったかと思います。

中山委員           東京書籍の5年生の下で、自然災害について、阪神大震災が取り上げられているんですけれども、関西で起きた大きな災害を知るということは、子どもたちにとってより身近なものとして捉えられるかな、という点がいいかと思います。ドラえもんのキャラクターを使っているのも、子どもたちには親しみやすいかな、と思います。教育出版は基本的人権の尊重を学習するページで、アイヌのことやハンセン病のこと、障がい者差別のことについて記述があるということは、子どもたちが知るきっかけの一つになるのはいいかな、と思います。

北田教育長           東京書籍の自然災害、防災について、ドラえもんを使うことで親しみやすいのではないか、ということ。教育出版は人権啓発についてということで、2者を挙げていただきました。他にいかがでしょうか。

伊丹委員           教育出版の6年生の現代史、176 ページとか、写真が出てくるのですが、もともとは白黒の写真がカラーになっていてびっくりしたんですが、子どもによっては白黒写真が怖い、苦手というお子さんもいるようで、工夫されて見やすくなっているのはいいな、というふうに思いました。東京書籍は二次元コードが結構使われていて、そこを見ると解説であったり、日本文教出版もそうですが、ワークシートで授業を補完するかたちでもいいのか、

と思いました。

北田教育長 教育出版は白黒写真が補正されてカラー写真になっているところ、東京書籍は二次元コード、日本文教出版はワークシートということで、特徴を言っていただきました。

般谷委員 東京書籍の6年生、135 ページ、子どもが武器を持つという部分で、大事なことではあるんですけども、果たしてこれは見せてもいいのだろうか、と思うんです。言葉の中でしっかり敗戦を見極めていくという中で、やさしさや相手のことをおもんぱかったりというような価値になっていくことは、非常に重要なことだと思うんですけども、社会の歴史の中でのあまりにも戦争の部分が大きく羅列されているという部分が、少し気をつけないといけないところではないかな、と思います。

北田教育長 東京書籍の歴史編の方ですね。子どもが学徒の訓練を受けているところですね。戦争など近現代史については価値観の違いもありますし、なかなか評価が分かれるところだとは思いますが。

他にいかがでしょうか。

今、様々な教科書について特徴的な点やいい点であった、ここは、気になった点などをそれぞれご意見をいただいてきました。

委員のみなさんのご意見を総合すると、教育出版がふさわしいかな、というようなご意見だったかと思うんですけども、このようにまとめてよろしいでしょうか。

各委員 異議なし

北田教育長 それでは、お諮りいたします。令和6年度使用小学校教科用図書「社会」については、教育出版の「小学社会」を採択することに異議はありませんか。



各委員 異議なし

北田教育長 異議なしと認めます。

次に、地図の採択を行います。前回、令和元年度の、採択時のポイントとして、「地図は3年生から6年生まで同じ教科書を使うので、子どもたちが飽きずに使い続けられる」「地図帳を初めて開く3年生の興味関心を高めるレイアウト」「交野市や大阪府、また近隣の府県について学べる工夫」「自然災害や防災意識を高めることができる」などが上がっていました。

では、委員の皆さんのご意見をお願いします。

亥埜委員 帝国書院の48ページがまず身近なこの近辺が見やすいということで、いいのではないかと思います。

北田教育長 先ほど選定委員会からの報告にもありましたように、「きさいち」という名称が書かれているというようなあたりですね。

長谷川委員 帝国書院について、地図はその土地を見るだけになりがちなんですけれども、今回気づいた点として、各ページに地図マスターへの道、というふうになっていて、小さな枠ではありますが、問題が書かれています。これが、子どもたちだけで考える時間をつくる、ということに活用できるのではないかな、ということと、これを達成するための巻末に双六状になったシートがあって、達成感が感じられるようなつくりになっているな、と思いました。

地図マスターへの道を探すのがまず楽しい作業かと思います。

これは、地図がただ場所を探すだけではない見方ができる一面かと思いました。

北田教育長 興味関心を深める感じはしますね。

他にいかがでしょうか。

伊丹委員 帝国書院の55ページに街道が分かるところに二次元コードがあって、それを見ると、このあたりで関ヶ原の戦いがありました、というかたちで解説されていたり、他のページだとクイズがあったりとか、結構地図だけではなく歴史やその地域に関連したものが出てきて非常に楽しいです。東京書籍も二次元コードで見るといろいろな情報が出てくるんですが、他の教科との関連がわかるということもあって、帝国書院の方が楽しめるかと思いました。

北田教育長 子どもも一人一台タブレットを持っていますので、二次元コードを見ながらいろんな意見を出してくる子もいるでしょうし、楽しみがいろいろあった方がよいということでした。

村橋教育長職務代理者 3年生がぱっと地図帳を見てわかりやすいのはどっちかな、と思いつつ見ていたんですけども、あくまで日本地図、世界地図、自然、歴史、伝統文化などそれぞれの領域が見やすく、わかりやすく、使いやすくなっているのはどれかという観点で見ました。特に6年生向けというあたりで、地図中に歴史関係の事や世界遺産のことが載っている、各学年で使い勝手がいいようになっているな、というように思いました。ですから、帝国書院がよいのではないかと思います。

北田教育長 6年生まで使うということですが、各学年で使いやすいということですね。

中山委員 同じ地域である近畿地方などをぱっと見た時に、文字が見やすいのは帝国書院かな、という感じです。ただ、東京書籍の31ページなどを見たときに、地図の端が次にどこにつながっているのか、というのが東京書籍だと39ページから40ページにつながっている、というのが書いてあるので、地図の続きを探すときに、次のページをめくったら次の地図になってなかったりするので、帝国書院だとめくったら次に大きい地図が出てくるんですけれど

ども、続きはどこになるの、となったときに、東京書籍だと 39 ページから 40 ページを見たら続きの地図が出てくるよ、というのは、探すときに親切かな、見やすいかな、と思いました。

北田教育長 道路地図と同じで、続きはどのページにあるか、というのが見やすいということですね。

発行者が2者しかありませんので、どちらかになるんですけども、みなさんのご意見をまとめると、この続きのページがどこになるか、というのは東京書籍がすごく見やすいけれども、地図帳としての色合いや見やすさ、あるいは二次元コードの内容、6年生まで使うということを考えると、帝国書院がふさわしい、というまとめでよろしいでしょうか。

各委員 異議なし

北田教育長 それではお諮りします。令和6年度使用小学校教科用図書「地図」については、帝国書院の「楽しく学ぶ小学生の地図帳3・4・5・6年」を採択することに異議はありませんか。

各委員 異議なし

北田教育長 異議なしと認めます。

次に、算数の採択を行います。前回、令和元年度の採択時のポイントとして、「二次元コードの使用」「1年生への配慮」「身近な疑問から学習に入り、めあてを持って取り組み、問題を解きながらまとめをして最後に振り返りをするパターン」などが上がっていました。

では、委員の皆さんのご意見をお願いします。

伊丹委員 算数に限らないですが、ずっと続いていくものなので、最初につまずいてしまうと後がすごくしんどい教科なので、導入として

はわかりやすいものがないかな、と思います。東京書籍の1年生の教科書を見ると、ほとんど文字がなくて絵で示されている部分が多いので、情報量もそんなに多くないんですが、それが返って学ぶ上ではいいのではないかな、と思います。

6年生の目次を見ると、後の学習で、中学1年生のここにつながります、とか取り組む前の学習として、3年生の図形の話が今回出てきます、というようなかたちで、学年を横断して示されているところで、算数は将来にもつながっていく話なので、そのあたりを意識されているのかな、というふうには思います。

北田教育長 他にいかがでしょうか。

村橋教育長職務代理者 今もありましたけれども、学びのつながり、東京書籍の算数を見て、目次からいったんですけれども、つながりがわかりやすいです。2年生の上の20ページに足し算の決まり、ということで、いわゆる実際に本を何冊か出してきて、図鑑が17冊、物語が28冊、というように。実際にあるものを数えて、それを丸に置き換えるという。これは、なるほど、わかりやすいな、と思います。その前に、ひっ算の仕方をやっているんですけれども、それを実際に本が何冊ということで、式を書いていって計算していくんですけれども、わかりやすいな、という。ずっとその式の組み合わせ方の処理の仕方も含めて思いました。それぞれの単元のつながり、学年のつながりなどが十分工夫されて構成されているな、と思いました。

北田教育長 他にいかがでしょうか。東京書籍の話があがりましたけれども。

亥埜委員 最初1年生で苦手意識を持つと、どうしてもそれがずっと尾を引いてだんだん勉強嫌いに繋がってしまうところがあって、どうしてもそれが算数であることがあって。それが上手にで

できれば勉強全体が楽しくなって、学校も楽しくなって行くと思います。どうしてもつまずいてしまうのは、算数が多いと思うので。

先ほどおっしゃったように、文字が少なくて最初は遊び心から始めた方がいいんじゃないか、という。東京書籍の教科書は、最後にビンゴカードみたいなものがあるって、遊び心のあるようなところがあるって、これをやって、いろんな数字の関係性を勉強していくというような、これは面白いな、と思って見ていました。遊び心を持ちながら学んでいくというのは一つかな、というところで興味を持ちました。

北田教育長 他にいかがですか。

伊丹委員 啓林館ののを見ると、全学年にわくわくプログラミングというページがあって、プログラミング的思考にも配慮されているところがあるって、こういうページがあるのはいいかな、と思いました。学校図書は巻末にもっと算数、という応用問題がついていて、勉強したいという児童にとってはいいのではないかな、と思います。

北田教育長 啓林館と学校図書についてもご意見をいただきました。他にいかがでしょうか。

前は、最初に伊丹委員がおっしゃったように、新1年生ということで、最初のところでこういう判が大きいのをつけていて、それが終わったら実際の1年生の教科書に入っていくというのが今回も、東京書籍と大日本図書と啓林館の3者あるようです。

これだけで判断するわけではないですが、同じような作りですので、見させていただくと、どれももちろん工夫されているんですけども、1ページ目をぱっと開けた時に、小学1年生の児童から見ると、ほぼ自分と同じ年代ぐらい、ひょっとしたら、幼稚園・保育所ぐらいのお子さんの写真があるというのは非常に親しみやすい気がします。そのあとの数を数えたりするあたりも、

写真などきれいなところがあって、最初に算数に入っていく児童にとっては入りやすいと思います。この3者の大判を見比べた時には、3者とも工夫されていますが、東京書籍が入りやすい印象はあります。

他にいかがでしょうか。

長谷川委員

どうしたらつまずかずに算数が好きになれるのかな、という視点ですっと見ていたんですけれども、やはり1年生の導入はとても大事だと思うんです。各者工夫はされていると思うんですけれども、東京書籍が一番親しみが持てるという感じはします。

般谷委員

5年生の子どもが小学校に通っていますが、ランドセルは大人は背負わないですよ。ほんとにこの教科書は積み重ねていくと重い物で。見比べていって甲乙つけがたいところもあるんですけれども、東京書籍はシンプルであり冗長になっていないんですよ。しっかりと集中できて、あまりあれもこれも、ということになると子どもの集中力がどこまで続くか、ということもありますので。学力的なものはもっと補助が必要になってくると思うんですけれども、私は東京書籍を見ていて、いいのではないかと思います。

北田教育長

他にいかがでしょうか。

ないようでしたら、いくつか出版社の名前はあがりましてけれども、東京書籍が一番ふさわしいということでまとめてよろしいでしょうか。

各委員

異議なし

北田教育長

それではお諮りします。令和6年度使用小学校教科用図書「算数」については、東京書籍の「新編 新しい算数」を採択することに異議はありませんか。

各委員

異議なし

北田教育長

異議なしと認めます。

次に、理科の採択を行います。前回、令和元年度の採択時のポイントとして、「判の大きさ」「問題解決に至るまでのプロセス」「子どもが主体的に話し合う活動を行う手助けになるようにイラストがあり、ヒントとなるコメント」「安全への配慮が視覚的に子どもたちも理解できる」などが上がっていました。

では、委員の皆さんのご意見をお願いします。

長谷川委員

東京書籍ですが、実験の方法等が書かれていたりするんですが、その場合の子どもたちへの危険箇所の伝え方、6年生の143ページ、各ページにもあるんですけども、真ん中の下の方に危険、というふうに赤で書かれていますよね。各者そういうように危ないところには気を付けよう、というように注意することが書かれているんですけども、この東京書籍が一番見やすかったし、分かりやすかったです。どうしても先生の発言だけでは漏れがあったり伝わらないことがあったりするかもしれないな、と思うと、こんなふうに書かれているのか、という印象があります。

北田教育長

他にいかがでしょうか。

中山委員

教科書が大きいのがいいかどうかというのは、先ほどのランドセルの話もありましたので、なんとも言えないところがありますが、写真などを見ていくと、やっぱり東京書籍が見やすいかな、と思います。あとは、おりひめ、ひこぼし、と出てくると、交野の子どもたちは七夕伝説のまちとして意識は高いと思うので、先ほどの阪神淡路大震災の話もそうですけれども、身近なことが教科書に載っているということは、結構自分たちにとっては嬉しいことではないかな、と思います。

北田教育長 他にいかがでしょうか。安全への配慮、判の大きさ、身近に感じられるかどうか、ということでご意見いただきました。

村橋教育長職務代理者 東京書籍と啓林館の特徴を見ていったんですけれども、啓林館は、4年生、5年生で高槻市とか枚方市とか、淀川などの写真が掲載されていて、大阪のもので、それがとっつきやすいな、と思いました。3年生から始まる理科ということで、生活科で学んだことを活かしていくとか、あるいは、どうして、ふしぎだね、とかから理科の学びに入っていくのがずっと入れるのはどちらかな、というふうに見ていくと、東京書籍の導入の仕方、身近なものに疑問を投げかけて、問題を見つけてやっていくというものなんです。どういうふうに理科を進めていけばいいか、というか、学び方、理科の楽しみ方ということでそれぞれページがあるんですけれども、そのあたりの構成、結局は学んでいって問題を自分なりに仮定をして調べてまとめて、そこから広げていくというあたりで、次のステップ、次の問題に行くという流れが、どちらがわかりやすいのかな、というふうに見ていました。生活科で学んだことを活かすという点も含めて、東京書籍の方が3年生では入りやすいかな、という工夫がされているな、と思いました。

北田教育長 啓林館は交野の身近な地域の写真なんかもあって、より身近に感じられる、ということ。東京書籍の方も、生活科から理科につながるときに、導入が非常に身近なところから入れるということです。どちらも身近ではあるんですけれども、交野の周辺の身近さと、導入にあたって自分の身の回りにあるという身近さということで、啓林館と東京書籍のご意見をいただきました。

他にいかがでしょうか。

伊丹委員 6年生の人体のしくみを学ぶところですが、東京書籍と啓林館を見比べてみると、いずれも32ページ目ぐらいからなんですが、



東京書籍の方がよりリアルに、心臓の写真などがあって、子どもは結構人体の授業が好きだったりするので、もちろん、絵で学べないことはないと思うんですが、よりイメージしやすいのではないかな、と思います。

北田教育長 東京書籍と啓林館の名前があがっていますが、全体のご意見からすると、東京書籍の方がふさわしいな、という感じなんですけれども、そういうかたちでまとめてよろしいでしょうか。

各委員 異議なし

北田教育長 それではお諮りします。令和6年度使用小学校教科用図書「理科」については、東京書籍の「新編 新しい理科」を採択することに異議はありませんか。

各委員 異議なし

北田教育長 異議なしと認めます。  
次に、生活の採択を行います。  
前回、令和元年度の採択時のポイントとして、「入学前に園などで遊びから学んだことを小学校の学習につなげる、小学校の生活のスタートという観点」「体験的に活動する際に活用できる」などが上がっていました。  
では、委員の皆さんのご意見をお願いします。

中山委員 どの教科書でも二次元コードがたくさん活用されていますけれども、教科書のうしろに、デジタルたんけんブックということでのっていて、それを読み取ると、こんなふうな映像が出てくるよ、というのが東京書籍も啓林館も載っていて、こんなのが出てくるんだな、というのが分かったら、じゃあ押してみようかな、という気持ちがより高まるんじゃないかな、と思います。

北田教育長 他にいかがでしょうか。

伊丹委員 啓林館の1年生の上を見ると、スタートブックが最初についていて、保育園、幼稚園の遊びのつながりから学校にというもので、イメージがしやすくなっています。東京書籍も同じようなかたちのものであるんですけども、どちらかというところ啓林館の方が情報量が多いようなカリキュラムになっているな、と思います。一読して勉強に入るといふ流れではわかりやすいのではないかな、と思いました。光村図書はヨシタケシンスケさんの絵が非常に子どもにとっては親しみやすく、ページの端にイラストが描いてあって、そういうのも楽しいかな、と思いました。

北田教育長 この前どこかの学校の先生たちのアンケートで、子どもに読ませたい本でヨシタケシンスケさんがあげられていました。

東京書籍、啓林館、光村図書のご意見があがりました。他にいかがでしょうか。

村橋教育長職務代理者 啓林館の下の方で、3年生へのステップというのがあるんですけども、2年間学んできたことを3年生へつないでいくということが、見てとれます。これを見るだけで、今までこういうことを勉強してきたのか、こういうふうにつながっていくんだ、ということがより分かりやすいと思います。この学年進行は大切なことだと思うんです。1年間単位でやっていった、ということではなくて、じゃあ次の学年に自分がどういうふうに向かってステップアップしていくのか、ということがそれぞれ理解できるということは大事だと思います。そのあたりが見てれると思いました。

北田教育長 先ほどの理科の部分で、生活科から理科へ、という流れのことをお話いただきました。生活科から理科への学年進行ということで、啓林館のご意見をいただきました。

他にいかがでしょうか。

般谷委員

先ほど話にもあった啓林館がいいな、と思ったんですけども、あまり大きさが大きいと大変だな、と思うこともあったり、写真などもデザイン性や背景などもすごく素敵に構成されていて、わかりやすく内容が伝わってくると思います。ページ数も少ないですが、あっという間に入ってくるというような感じです。

その中でグローバルな時代になってきていますので、外国人の方の写真なども、友達や仲間というような視点があっているのではないかと思います。

北田教育長

印象や構成ということで啓林館のご意見をいただきました。他にいかがでしょうか。

啓林館、東京書籍、光村図書の3者のご意見がありましたが、一番多かったのは啓林館だったと思います。多数決で決めるわけではありませんが、内容や3年生へのつながり、逆に幼稚園、保育所からのつながりなんかも考えて、啓林館がふさわしいということでご意見まとめてよろしいでしょうか。

各委員

異議なし

北田教育長

それではお諮りします。令和6年度使用小学校教科用図書「生活」については、啓林館の「せいかつ」を採択することに異議はありませんか。

各委員

異議なし

北田教育長

異議なしと認めます。  
ここで10分程度の休憩をとります。

【休憩】

北田教育長

それでは、音楽の採択を行います。

前回、令和元年度の採択時のポイントとして、「教科書のサイズ」「視覚的にイメージを捉えられる工夫」「言語活用力の育成においても、音楽の時間を通じて豊かな表現力を育める内容が整理されている」などが上がっていました。

では、委員の皆さんのご意見をお願いします。

伊丹委員

1年生なんですけど、2者ともいろんなリズムの学習というところがあり、教育芸術社は28ページ、教育出版は18ページなんですけれども、同じようなかたち、リズムを奏でましょう、というところになっているんですけども、教育出版は、たんたん、うん、たんたん、というような表現に対して、教育芸術社はトマト、バナナ、のようなかたちで、日常的に使っている言葉にもリズムがあるんだ、というようなかたちでの意識ができるかな、というようなところがあって、音楽の導入としては、そういう視点もあるのかな、と思いました。

北田教育長

日常とのつながりがあるということですね。他にいかがでしょうか。

亥埜委員

教育芸術社の24、25ページで著作権のことについてです。最近はダウンロードしてということもありますので、いろいろそういう時代になっているので、勉強しておくといいんじゃないかと思います。使うのもただではないんですよ、というような。

北田教育長

他にいかがでしょうか。

長谷川委員

音楽は、普段からピアノを習っておられるお子さんと、そうでないお子さんと、すごく差が出るな、というのがこれまでの感想なんですけれども、そういった意味では、あまり興味のないお子

さんからすると、音楽なんて、というふうになりがちかと思って、そういうお子さんにも興味を持ってもらえたらいいのかな、というように見方をしていたんですけれども。やはり中学でも音楽の授業があって、テストがありますので、そういった意味では、今年初めて気が付いたんですけれども、教育芸術社の巻末には、リコーダーの運指表が各学年に必ず載っていたり、主要な記号が一覧表になっていて、これを見ればピアノを習っていないお子さんでも記号の一覧表が見れたり、音符のかたちの一覧表が見れたり、さらにその下にステップアップとして、小学校では習わないけれども載せていますよ、というようなことが書いてあります。中学校につなげるというとオーバーかもしれませんが、音楽でここまで丁寧にされているのはいいな、という感想です。教育芸術社は裏表紙に必ず日本の地域芸能が書かれていまして、中身を拝見しても各学年、日本の音楽について詳しく書かれていたりするページが多いのかな、という印象を受けました。

教育出版では、みなさん今では幼稚園等で経験される方も多いかもしれませんが、6年生の72ページでは手話歌が掲載されていまして、これこそ今は経験されているお子さんは多いと思いますが、音楽も手話で伝えることができるんですよ、という紹介になっていると思っています。そういった意味では、人権までは言わないですけれども、音楽の中でも手話が入り入れられているということは、なんとなくやったことがあるお子さんが多い中で、教科書に載っている意義は大きいのかな、と思いました。

北田教育長

先ほどの社会でも人権についてのご意見いろいろありましたけれども、音楽で手話の歌を載せているということは、全ての人が音楽を楽しめるということではないかと思います。

他にいかがでしょうか。

中山委員

教育出版の教科書を私の子どもも使っていたと思います。音楽は授業ではあるんですけれども、子どもたちがほっこりするよう

な時間であってもほしいな、という思いがあります。勉強として学ぶだけではなくて、教育芸術社だといろいろ身近なもので、例えば1年生だと28ページにあるような感じで、リズムを言葉に置き換えて、言葉のリズムでやりましょう、というのも親しみやすいかな、と思いました。各学年に音楽づくりという項目がありまして、リズムでいろんな体験をしましょう、というものです。リズム感というのは、音楽だけではなくて全ての生活のうえで大事だと思っているので、体で感じてもらうのは、身近にあることで体験できるのはいいことだと思いました。

特に、6年生になったときに、リズムが22ページに書いてあるんですけども、ボイスアンサンブル、ボイスパーカッションにつながるように書いてあって、子どもたちにとってはただリズムをとるだけではなくて、テレビでもそういう番組があって、ボイスパーカッションというようになると、すごく身近なものに感じるかと思います。6年生の教科書でそういうものが書かれていると、より興味が持てると思います。それができるようになると、授業時間以外でも子どもたちで自然に興味がある子たちが取り組むことができるようになったらいいな、と思います。あと、長谷川委員がおっしゃったように、裏表紙に、日本の芸術文化が取り上げられているのがいいな、と思いました。

それから、いいかどうかはわからないんですけども、一番後ろにどの学年も君が代が載っているんです。教育出版も載っているんですけども、少し狭いんです。教育芸術社は常に一番後ろにあって、賛否両論あるかと思いますが、それは国歌として一番後ろになっているのかな、と思っています。国歌に子どもたちも親しんでもらうということを念頭に置いて、教育芸術社については巻末に載せているのかな、というふうに思います。

教育芸術社の方がより二次元コードで聞きましょう、というのがたくさんあります。小学校の場合は教科で指導されるのではなく、基本的に担任の先生が授業されるかと思いますが、専科の先生がおられる学校もありますけれども、基本的に担任の先生がされ

るところが多いと思いますので、こういうコンテンツがたくさんあるということは、音楽が得意な先生ばかりではないと思うので、先生は授業を進めやすいんじゃないかな、と思います。

北田教育長           音楽の授業の進め方や子どもたちや先生の使い勝手も含めてご意見いただきました。2者しかありませんので、いずれかにはなってしまうんですけども、今お話しをお聞きしていると、どちらがふさわしいかということ、教育芸術社ということでもとめてよろしいでしょうか。

各委員               異議なし

北田教育長           それではお諮りします。令和6年度使用小学校教科用図書「音楽」については、教育芸術社の「小学生の音楽」を採択することに異議はありませんか。

各委員               異議なし

北田教育長           異議なしと認めます。  
次に、図画工作の採択を行います。前回、令和元年度の採択時のポイントとして、「小学校入学前や中学校とのスムーズな接続を意識」「造形・絵・立体・工作・鑑賞の題材が学年のバランスよく配置」「子どもの創作意欲をかき立てるような工夫」などが上がっていました。  
では、委員の皆さんのご意見をお願いします。

伊丹委員           どちらも目次に造形・絵・立体・工作・鑑賞があり、この項目は意識しておられるということだと思ってしまうんですけども、日本文教出版は鑑賞というところで、絵を見たり作品を見たりというところを意識して目次に印がついています。開隆堂も出てはいるんですけども、特に低学年に関しては、日本文教出版の方が作品

を見て鑑賞も含めてつくっていった、という視野の広さを感じました。

北田教育長 他にいかがでしょうか。

亥埜委員 1・2年生の下を見比べていたんですが、カッターナイフの使い方があって、開隆堂の方は使い方は書いてあるけれども、日本文教出版はこんな使い方はだめですよ、というような安全に配慮したような、結構詳しく書いています。つくるだけでなく配慮されているのいいかな、と思いました。

なかなか、今大学生のアルバイトで使っている子もいますが、道具をうまく使えないということもあって。してはいけないことをする子もいますし。

北田教育長 他にいかがでしょうか。

長谷川委員 亥埜委員と同じなんですけれども、やはり図画工作で保護者として怖いと思った瞬間は、彫刻刀を使わせたときです。安全面についてどういうふうに注意喚起されているのかな、というふうに見ていたんですけれども、日本文教出版の3・4年生の下の後の方にも詳しく彫り方、持ち方があるんですけれども、私が注目したのは49ページ。日本文教出版は、見開きごとに、右下に気を付けよう、片づけよう、振り返りという窓がありまして、見開きごとに気を付けることが書いてあるんです。49ページでは、気を付けよう、刃の進む方向に絶対に手を置かない、ということが、文字だけでなく絵も添えられています。実際この注意は担任の先生からすごく言われた記憶がありますし、にも関わらず、この方法で手を切ってしまった同級生がいたのも覚えています。やはり字だけでなく絵を使って注意喚起している点ですとか、同じく3・4年生の下13ページ、ここにも見開き右下に気を付けようの窓があるんですが、絵具を使ったページで、かゆくなったらす



ぐ手を洗おう、という。過剰じゃないかと思ったところでもあったんですけども、実際、いろいろな化学物質に反応する子がいて、例えばかゆくなる子もいるんだ、という見方もできると思うんですけども、注意喚起については丁寧になされているな、という印象です。

北田教育長           安全面についてのご意見をいただきました。

村橋教育長職務代理者    図画工作は中学になると技術・家庭科、技術科につながっていきますね。6年間で終わるわけではないです。そこでやはり興味関心が造形的なものや作品なんかをとおして、表現力、あるいは鑑賞する力とかいろんな資質能力というものがどんどん備わっていくということだと思いますが、題材や導入部分というのは、各学年でどう興味関心を動かせるか、ということが悩むところになるとと思いますが、日本文教出版のQRコンテンツを見たんです。

そうすると、動画や画像や音声など、数もすごいんです。今問題になっている道具の使い方とかが動画ですごく丁寧に注意されているとか、道具ができるまでを動画にしているとか、人気作品の解説動画など、それを視聴することによって理解が深まります。そういうコンテンツがたくさん収められていて、非常にいいと思います。

北田教育長           二次元コードの内容についてもご意見いただきました。

他にいかがでしょうか。

2者から選択することになりますが、ご意見をまとめると、日本文教出版の1年生の導入の部分、安全面、二次元コードについてご意見をいただきましたので、日本文教出版がふさわしいということでまとめてよろしいでしょうか。

各委員               異議なし

北田教育長           それではお諮りします。令和6年度使用小学校教科用図書「図画工作」については、日本文教出版の「図画工作」を採択することに異議はありませんか。

各委員               異議なし

北田教育長           異議なしと認めます。

次に、家庭の採択を行います。前回、令和元年度の採択時のポイントとして、「実生活にどれだけ関連しているかを考えながら学べる」「キャリア教育の視点」「安全に関する内容」などが上がっていました。

では、委員の皆さんのご意見をお願いします。

長谷川委員           家庭科と言いますと、裁縫か調理か、というイメージだったんですけれども、どちらを拝見していても、丁寧に書かれていますし、献立についても考えるところについても書かれているな、と思ったんですが、1点違うところに気づいたので申し上げますと、開隆堂の17ページ、調理のページではあるんですけれども、食物アレルギーの種類として下の方に枠組みで書かれています。今調理や食事をするうえで、食物アレルギーはどこかで触れてほしいな、というのは保護者としての立場の意見なんです。たぶんクラスの中でも、一昔前に比べると食物アレルギーをお持ちのお子さんは増えていると思いますし、交野市でも給食が対応してくださっていますし、近隣市も違うかたちではあっても、アレルギー対応はなくてはならないものになっていると思います。やはり大人ばかりでなくて、子どもどうしても食物アレルギーについて実感が無いお子さんでもきっと感じてもらえる授業があればいいな、というのはずっと思いがあったんです。そこに17ページのようなページがあると、気づいてくれているな、という気がします。

東京書籍にも食物アレルギーの記述はあるんですけれども、取

り上げる大きさとしては開隆堂の方が大きいかな、と思います。

先生のお話のされ方にもよると思うんですけども、やはり食物アレルギーについてどれだけ取り上げているかはひとつの視点かな、と思いました。

北田教育長 他にいかがでしょうか。

伊丹委員 どちらの教科書も二次元コードがほぼ全ページについていて、今どきの教科書かな、と思いますが、同じような項目について、例えば調理のゆでる、というところを見てみると、開隆堂はホウレンソウとじゃがいもをそれぞれ水からゆでたらどうなるか、とか、比較をしていたりして、豆知識的なところもあって面白いと思いました。

東京書籍も同じようなかたちで動画がたくさん載ってはいるんですけども、開隆堂の方が面白いな、と思いました。直接教科書に書いているわけではないかもしれませんが、それ以外の知識的なものが得られるのかな、と思いました。

北田教育長 他にいかがでしょうか。

般谷委員 裁縫なんかは見ていると、すごく細かいところまで書いていて、甲乙つけがたいな、と思っています。

北田教育長 子どもたちにとってわかりやすいように、興味が向くように、また、日常生活につながるように、ということで工夫されていますね。

村橋教育長職務代理者 2者ともそれほど大きな違いはないのかな、と思いますが、ジェンダー平等や多文化共生の観点で見るとどうかな、と思ったんですが、文章や写真、挿絵、図、資料も含めて、様々な世代の人、乳幼児から高齢者まで、とか、多様な人が登場するという

ことで、共生の点で書かれているな、というのが分かります。そのあたりも含めて、そういう人権的な配慮は大事だと思います。

大きな差はないとしても、パッと見た時に、そういうところが工夫されているな、ということがわかります。それが開隆堂の教科書だと思います。

北田教育長 他にいかがでしょうか。

般谷委員がおっしゃったように、どちらの教科書も工夫されていますが、みなさんのご意見を聞いていると、アレルギーの取り入れ方とか、二次元コードの中身や様々な人権的な配慮のこととなりますと、開隆堂がふさわしいのではないかと、思いますが、そのようにまとめてよろしいでしょうか。

各委員 異議なし

北田教育長 それではお諮りします。令和6年度使用小学校教科用図書「家庭」については、開隆堂の「わたしたちの家庭科」を採択することに異議はありませんか。

各委員 異議なし

北田教育長 異議なしと認めます。

次に、保健の採択を行います。前回、令和元年度の採択時のポイントとして、「知識として習得するということだけでなく、自分たちで考え、実生活にしっかりと活用できるか」「保健という教科を通じて、社会に目を向ける広い視野を子どもたちが身につけられるか」「思春期の悩みへの対処」などが上がっていました。

では、委員の皆さんのご意見をお願いします。

村橋教育長職務代理者 学校現場で何時間、というような授業時数を把握して、保健の時間は年間計画の中でも少ないんです。そんな中で、あくまで保

健と体育ということで、実技の方で一定の時間は必要だよ、というように、その中で保健をやっていく、というように。授業時数が少ない中で、どういうふうに展開していくのか、という中で苦労した思い出があります。その中で、Gakkenの教科書を見せてもらって、教科書に直接書き込む部分が多いですね。授業時間数が少ない中で有効に時間を活用する、まとまったものになる工夫がされていると思います。1時間の学習のまとめがあるんですけども、二次元コードからふりかえりシートが出てくるんです。

いわゆる学習ログというものが作れるんです。これは画期的だな、と思って。短時間の中でもきちんと押さえられる。これはいいな、と思いました。

北田教育長

年間数時間しか保健の授業をしませんから、短い授業時間数の中でも使いやすいということですね。

他にいかがでしょうか。

般谷委員

子どもたちが思春期を迎えているいろいろな面で悩みとか打ち明けられないことなどで、中傷されたり、そこから孤立していくというようなことが問題になっています。それから、スマホ、メールのやりとりでモラルの問題があって、その中でいろんなじめ等に発展してくることもあるので。Gakkenの5・6年生の中で、女の子、男の子、その中でも心の健康とか怪我の防止、病気の予防等の部分で、また自分の悩みを心の中で持っていて、心のケアとして腹式呼吸にどんな効果があるか等を、というようなことを書いています。

文教社を見させてもらったんですけども、見やすくデザインもわかりやすくしてもらっているんですけども、その部分の詳しい性的なことや心の問題のこと、また、地域の安全や防犯をふまえたうえで、どちらが、ということになると、両方併せ持った方がいいと思うんですけども、Gakkenさんがいいのではない

かと思えます。

北田教育長        ちょうど5・6年生ぐらいからそういう時期に入ってきますからね。

般谷委員         今5・6年生を見ているとよくわかると思うんですけども、一番子どもが発達して変わっていく時なので、その中でそのあたりに注目していくためには、やはりこういった教材が、男性の先生でも女性の先生でも一番使いやすいものがないと思いません。

長谷川委員       悩みがあって当たり前なんだよ、とか5・6年生の最初の単元が心の健康ということで各者とられているんですけども、不安で当たり前だし、人それぞれ心は違うけれども、解決の仕方もあるよね、みんなで考えましょう、というような持って行き方ができるつくりになっていて、授業として、今の自分にみんなが向き合える、という保健の授業は大事なところにあるんだな、という印象です。先生方が一番使いやすい教科書が選ばれるのがいいんだろうな、とは思っていますが、ちょっと見て、親しみやすい、とっかかりやすい、見やすいな、と思ったのは Gakken です。本自体がしっかりしていて、2年使うので。すっきりして見やすいな、と思ったのは東京書籍で、写真やイラストもたくさん使われている印象です。目を引いたのはこの表紙です。国籍が違うであろうキャラクターが載っていたりして。そういった意味でも配慮されているのかな、という印象です。

北田教育長       先生が使いやすい教科書が一番ですけども、その中でぱっと見た印象では東京書籍の表紙なんかは人権の配慮が感じられるという。

他にいかがでしょうか。

東京書籍、文教社、学研の3者の名前があがりましてけれども、ご意見が多かったところでは、先生が使いやすいだろうというこ

と、授業時数の少ない中で効率的に活用できるのではないか、というところで Gakken というご意見だったと思います。

それではお諮りします。令和 6 年度使用小学校教科用図書「保健」については、Gakken の「新・みんなの保健」を採択することに異議はありませんか。

各委員 意義なし

北田教育長 異議なしと認めます。

次に、外国語の採択を行います。本市は英語ですけれども、前回、令和元年度の採択時のポイントとして、「子どもたちが分かりやすく使いやすいのはもちろん、先生たちが学習を進めやすい」「異文化とのつながり」「相手意識を持ってコミュニケーションをとろうとする態度の育成」などが上がっていました。

では、委員の皆さんのご意見をお願いします。

伊丹委員 英語はコミュニケーションツールとして使えないと意味がないというところで、もちろん、書きもあるんですけども、特に小学校ですから、まずは伝えることでコミュニケーションをとるんだよ、という観点で作られているものがないかな、と思います。

東京書籍だけだと思うんですけども、Enjoy communication というページがあって、最初にブライアンなどの子どもの写真と一緒に、こういう会話をしました、というものが結構あって、次にその話題に基づいて議論して、最後に発表しましょう、というつくりになっているのを見ました。こういうように、人がいて、その子にしゃべって伝えるというようところが、つくりとしてイメージしやすいのかな、と思います。書くだけじゃなくて、伝えるものなんだよ、というのが一番意識されているのは東京書籍かな、と思いました。

北田教育長 コミュニケーション、伝えるということが一番意識しやすいつ

くりになっているのが東京書籍じゃないか、ということですね。  
他にいかがでしょうか。

亥埜委員           英語はデジタル教科書があるということで、デジタル教科書の  
使い勝手はどうなのか、というところですね。東京書籍と光村図書  
ですけども、光村図書のデジタル教科書はデジタルふせんなん  
かがあって、使い勝手がいいというふうに聞いています。我々も  
先生がデジタル教科書を使って授業をしているところをまだ見  
たことがないので、イメージしにくいところがあるんですけども、  
これは現場の先生、選定委員の意見を推してもいいんじゃない  
かな、と思います。

北田教育長           他にいかがでしょうか。

村橋教育長職務代理者   デジタル教科書の使い勝手の事もあるんですが、教科書の別冊  
というかたちで、いわゆる単語帳ですね、これがついているとい  
うことで、これに書き込んで単語を覚えるという。これを2学年  
で使用するんですが、ふりかえりがしやすいです。地図なんかで  
も出るんですけども、様々な活動でこれが使えるのではない  
か、世界につながるような。そういう使い勝手のよさは感じます。  
その中で、これをノートと同じように活用して学習していく。そ  
れと、コミュニケーションカードが用意されているんですが、そ  
れも教員の側からすると、言語活動に取り組みやすいつくりにな  
っているな、と思います。

北田教育長           他にいかがでしょうか。

長谷川委員           英語となると、当初は中学からはじまる教科ということで、予  
め塾などで備えたりする子どもたちもいたんですけども、今は  
こうして立派な教科書が5年生、6年生からあるんだということ  
にまず驚きました。



その中でも各者別冊で、例えば東京書籍だと My picture dictionary ということで別冊になっていますよね。三省堂でも My dictionary という簡単な小さな辞書になっています。特に東京書籍の最後の方、40 ページには、中学校の生活や将来の夢について伝え合うというふうに、中学校の生活を題材に文章を作って会話してみませんか、というかたちで取り上げられています。

例文の多さも圧倒的だと思ったんですけども、5年生の表現の確認、6年生の表現の確認、というふうに各学年での目標、めあてがはっきりわかるようになっていたり、見開き1ページ目のところに、会話をしましょう、会話を広げましょう、というテーマが書かれているのも特徴的かな、と思います。

先ほど伊丹委員がおっしゃったように、東京書籍の教科書は、私たちの使った教科書とは全く違って、書き込んで使えるようになっていて、それを友達どうして試してみる、という。私も授業風景を拝見させていただいたときには、グループワークをされていて、みんなで発声している時間があったんですけども、これも、そういう意味では使いやすくなっているんだな、という感想と、My picture dictionary、見開き1ページ目に会話を広げましょう、コミュニケーションツールということ为先ほども委員からありましたけれども、やはりそういった観点から英語の授業を展開するには、こういった教科書の方が先生方も使いやすくなっているのかな、というのが印象です。

北田教育長

他にいかがでしょうか。

デジタルふせん等、光村図書のデジタルコンテンツを推すというご意見もあったんですけども、全体のご意見としてはコミュニケーションツールとして伝えるという意識をより持ちやすいかな、あるいは理解しやすいということ、構成など総合的なご意見をまとめると、東京書籍がふさわしいということでもまとめてよろしいでしょうか。

各委員 異議なし

北田教育長 それではお諮りします。令和6年度使用小学校教科用図書「外国語」については、東京書籍の「NEW HORIZON Elementary English Course」を採択することに異議はありませんか。

各委員 異議なし

北田教育長 異議なしと認めます。

最後に、道徳の採択を行います。前回、令和元年度の採択時のポイントとして、「教え込むことで道徳性を養うのではなく、議論し、違う考え方にも触れ、自らで生き方を構築して行けるか」「子どもたちの実情に応じて、活用できる」「共通する題材での比較」などが上がっていました。

では、委員の皆さんのご意見をお願いします。

般谷委員 光文書院の6年生、目次を見たり、そこから全体が見えてくると思うんですけども、中には長い年月語り継がれたり、一度本を読みたいな、というような、みなさんご存じの三浦雄一郎だったり、杉原千畝だったり、いろいろな方のことが載っていて、鑑真和上の一隅を照らす、というような言葉も出てきたりするんですけども。まず1枚めくっていただいて、豊かな心としてこういうツリーがあるんですけども、これを見てみんな、こういうのもいいんじゃないかな、というような自分の夢を描いていく上で一番大切なところを確かめられるような、フィードバックして今まで歩んできたこと、そしてそこからどんどん夢に向かっていくという。

三浦雄一郎はエベレストに登った冒険家ですけども、男の子ばかりが冒険家が好きなのではなくて、マザー・テレサが出てきたり、誰かのために役に立つというようなことは、教育の一番の子どもたちの出発点、相手のことを想ったり、誰かを助けたり、

誰かの役に立ちたいというような気持ちになるような、そういう文章、そういうメッセージに触れることが大事だと思います。日本文教出版の6年生を見てもらうと、卒業して次のステップに行く前に、色々な体験をとおして、ということで30ページをご覧いただいたら、このような場面に出会ったときにあなたはどんな気持ちになるでしょう、段差で困っている車いすの方を見て、思いを思いやりに変えるにはどんなことが大切でしょう、という。この写真を見て、まず、これは大事だな、とか心を打つな、とか感動するな、というのが見えるでしょう。

子どもの目線で見えていくと、自転車でこけていて痛がっている子、電車で妊婦さんが立っていて学生さんがみんなが寝ている、でも、これ、比べることを言っているように見えて仕方がない。

実はよく見ると、この学生さんたちは夜通し勉強して電車に乗ってくたくたになっていて休んでいるかもしれない。でも、どこかで気づかなければいけない、ということは、比べてしまうと、子どもの教育上、比べるところを注視すると違うところになってしまうと思うんです。

そこで、いろんな他のもの、法律って何だろう、とか、東京書籍6年生なんかを見ていても、先ほどの日本文教出版なんかも、絵に出てくるものでも、表情が2つに分かれているような感じがします。それは、何か通じるような、感動するような、メッセージが込められているようなものではなくて、ただ怯えているような、びっくりしているような心の部分を見させてもらいました。

東京書籍の42ページ、友達との間で、「ばかじゃない」というような、これは通常の会話です。でも、会話の中でも誰かを中傷したり非難したり、後ろ指をさしたり、というのも、さて、これがモデルになるのかな、と思うと少し悲しくなってしまう。

黒柳徹子など、子どもたちのことや世界のことをしてくれている人たちがいたり、そういう面白いことが出ているんですけども、今それを見ていて、光文書院の教科書がいいのではないかな、

と思います。昔の歴史のこと、これからの人生のことを考えて羽ばたいていく子どもたちへメッセージとして残していくものは何かな、ということを考えて見ていました。著名人や愛のために生きてきた人たちのことも大事ではないかと思います。

北田教育長           子どもの心を揺さぶるメッセージということで、光文書院のご意見をいただきました。同時に、2者ほどのご意見もいただきました。他にいかがでしょうか。

長谷川委員           例えば光文書院の場合は各作品のタイトルの横に考える、めあてとなるヒントが書いてあるんです。必ずどの単元の読み物の中にも、例えば、1年生の16ページ、ぼく持ちます、というタイトルの下に、親切な人とはどんな人だろう、という、この単元について何を考えたらいいのでしょうか、というのが冒頭に書かれています。それがどの作品にも書かれていますごくわかりやすいです。例えば、他者だと、タイトルはあっても、それについてどう考えたらいいか、ということが冒頭に書かれていないものがあったりします。

道徳の時間は読むだけの時間だったな、という感じがしていたんですが、よく読ませていただくと、やはり道徳というのは考える時間であって、何について考えるかがわからないと考えられないので、特に1年生の道徳の時間は難しいんじゃないかと思うんですけれども、親切な人とはどんな人だろう、ということに対して、そんなの分かってるじゃないか、という答えが返ってくる中でも、一回考えてみようか、というような授業に持って行き方ができるというような意味では、当たり前のことを考えてみる、というような問題提起がされているのがとても新鮮で、道徳の時間が充実したものになるんじゃないか、という感想を持ちました。

北田教育長           他にいかがでしょうか。

村橋教育長職務代理者 1年生で光文書院と光村図書で同じ題材を使っている部分があるんです。このつくりが全く違うというか、それぞれに特徴があるんです。長い文章を読んで、全体をつかんで読んでいく、あるいは場面ごとで見えていく、というつくりの違いがあります。それぞれのよさがあります。あくまで題材の冒頭なんですけれども、光文書院の方が児童への投げかけの言葉がわかりやすいです。あたたかい心の人とはどんな人だろう、という投げかけがあります。それぞれの場面ごとに文章も絵もあって、最後に考えよう、まとめよう、広げよう、というのがあります。もちろん、道徳の授業の流れというのは、考えて話し合う、議論するという流れが大事なわけですけれども、その流れをつくりやすいのはどちらかな、と思って見たときに、光文書院のつくりの方が流れをつくりやすいかな、と思いました。

伊丹委員 光文書院と光村図書を比べると、目次のところに、光文書院はいじめを生まない心、という項目立てがあって、光村図書はいじめを許さない心、というかたちで項目が立てられていて、もちろん、いじめを発生させない、100%は難しいかもしれませんが、そうは言っても、まずはいじめがあっていいわけではないので、そういった観点で、光文書院がつくられているのではないかな、という違いがあると思います。なるべく発生させないことが一番だと思うので。考えよう、というかたちでいくつか質問であったりヒントが書いてあるんですけれども、吹き出しというか、色を変えておられるので、非常に目につきやすいので、見やすいかな、とも思います。

北田教育長 2者の比較が出ましたけれども、先ほどの「橋の上のおおかみ」で言えば、ヒントとして光村図書が、ついいじわるしてしまったことはないかな、というヒントで、光文書院が、あたたかい心の人とはどんな人だろう、というふうになっています。伊丹委員がおっしゃったように、いじめを許さない、という意味では、つい

いじわるしてしまったことはないかな、というヒントになるのか  
もしれませんが、いじめをしないような心を持ってほしい、とい  
う意味では、あたたかい心の人とはどんな人だろう、というヒン  
トの出し方というのは、教科書のつくりの一つの観点かと思いま  
す。

他にいかがでしょうか。

いろいろご意見をいただきましたが、いくつかの発行者の教材  
を比べて、あるいは目次を比べて、子どもの心を揺さぶるような  
メッセージ、そういう点から考えると、光文書院がふさわしいと  
いうことでまとめてよろしいでしょうか。

各委員 異議なし

北田教育長 それではお諮りします。令和 6 年度使用小学校教科用図書「道  
徳」については、光文書院の「小学道徳 ゆたかな心」を採択す  
ることに異議はありませんか。

各委員 異議なし

北田教育長 異議なしと認めます。

これで小学校全種目の採択が終わりましたので、最後に全種目  
の確認をいたします。

令和 6 年度使用小学校教科用図書は、国語は光村図書出版「国  
語」、書写は光村図書出版「書写」、社会は教育出版「小学社会」、  
地図は帝国書院「楽しく学ぶ 小学生の地図帳 3・4・5・6 年」、  
算数は東京書籍「新編 新しい算数」、理科は東京書籍「新編 新  
しい理科」、生活は新興出版社啓林館「せいかつ」、音楽は教育芸  
術社「小学生の音楽」、図画工作は日本文教出版「図画工作」、家  
庭は開隆堂出版「わたしたちの家庭科」、保健は Gakken「新・  
みんなの保健」、外国語（英語）は東京書籍「NEW HORIZON  
Elementary English Course」、道徳は光文書院「小学道徳 ゆ

たかな心」が相応しいということで、これらを採用することに意義はありませんか。

各委員 異議なし

北田教育長 異議なしと認めます。

続いて、令和6年度使用の中学校の教科書採択に移りますが、中学校の教科書については、最初に説明がありましたとおり、令和5年度におきましては、令和4年度と同一の教科書を採用しなければならないということから、採択替えは来年度行いますので、今回は、現行の教科書について承認をいただくものです。

現行の教科書は資料4のとおりです。

何かご質問等あればお願いします。

それではお諮りします。令和6年度使用中学校教科用図書については、資料4の現在使用している教科用図書が相応しいということで、採用することに異議はありませんか。

各委員 異議なし。

北田教育長 異議なしと認めます。

よって、令和6年度使用小・中学校教科用図書の採択は以上のとおり採択することとします。

以上で日程3 議案第20号「令和6年度使用交野市立 小中学校 教科用図書の採択について」を終わります。

これをもちまして、第10回教育委員会 臨時会に付されました案件の全てが終了いたしました。

これにて臨時会を終了いたします。

交野市教育委員会会議規則第20条の規定により署名する。

交野市教育委員会

教育長

\_\_\_\_\_

委員

\_\_\_\_\_